

# 議会報告会 意見交換会を開催

2月9日に第1回目となる議会報告会を「昼の部・さんさん館」と「夜の部・林業研修会館」で開催し、議会の役割・議会運営・委員会活動などを報告して、町政や議会に対する意見等を交換する場となりました。

## まちづくりについて

### 参加者

- ・町の総合計画の進め方で住民の意見を聞くなどあるが、基本的なスタンスが見えない。
- ・国の補助金頼りで町の主体的な計画が無い、自立の町づくりをしっかりとやってほしい。
- ・筑波大学が主役で町民の意見が反映されていない。
- ・いちいの園や高齢者施設に入所できない人が多く困っている。
- ・ケアハウスは待機者が多い、増築計画はないのか。
- ・森林を観光資源にすべきではないか。
- ・空き家がある土地の寄附を町は受けないとのことであるが、寄附を受け活用すべきではないか。

## 議会の役割

### 議会

- ・旧活汲校を避難所にする町長は言ったが、最終的に山上木工さんが利用し、避難所は2階と聞いた。高齢者の地域で2階はあり得ない。自治会から研修センターの利用を要望しているとも聞いた。住民に誠意ある対応をしてほしい。
- ・自主防災組織で必要な名簿作成が個人情報保護の関係で進まない。まちづくり懇談会などで要望し約束したが町の対応がない。
- ・活汲学校跡利用は、時間経過の中で当初と違う案も出て、地域協議を行い最終結果となった。
- ・災害対策に係る名簿については、平成27年度中に作成すると回答を得ている。

### 参加者

- ・役場庁舎建設は決まったのか。3期でやると言っているが予算等進めるスタンスが分からない。25年後には人口が半減する中、町民が最大の関心を持っていると思うが、総合計画の委員にお任せなのか。

## 役場庁舎等建設について

## 庁舎建設について

- ・庁舎建設について、町長はコンパクト化し、農協・商工会・社会福祉協議会等が入ることも検討したいと、まちづくり懇談会で話しているが、説明してほしい。
- ・建設計画はきつちりと議論すべきではないか。
- ・庁舎建設問題で、町民に対する合意形成や手順はどうなっているのか。また、議会の対応は。
- ・耐震化や老朽化は分かるが、人口減の中、多額な金をかけてやる必要があるのか。
- ・消防庁舎建設はどうなっているのか。

### 議会

- ・筑波大との連携で、まちなかをどのようにするのか再生協議会でも協議されている。現段階では町からは何も打診されていない。

## 議会報告等について

### 参加者

- ・行政視察で、岩内町役場のエネルギーは何か伺いたい。
- ・旭川林産試験場の道産カラマツを利用したCLT(直交集成板)は、今後津別町の庁舎に利用するというところで視察をしたのか。

- ・来年は議員の改選期だが、報酬改定や定数減問題について話題になっているが伺いたい。
- ・高齢者が多くなり、情報発信について、町のホームページを通じては難しい。議会報にもっと力をいれるべきではないか。
- ・自治会連合会と議会との懇談会を開催したが、その総括などをやっているのか。
- ・人口減や高齢化が進む中、将来に向かっての議会のあり方や定数の目標及び方向性はもっているのか。
- ・人口減と高齢化の中で、定数減と議員の定年制を考えていくべきではないか。

## その他

### 参加者

- ・活汲消防詰所はポンプ車が入らないとの話を聞いたが、どうなっているのか。
- ・自治会に転入してきた住民に対し、行政側が未加入でも良いと話していることを聞いているが、加入について徹底すべきではないか。

※紙面の都合上、一部を掲載しました。



昼の部・さんさん館

## 議会報告会 「皆さまからのご意見」

■40代～50代  
 ・ 普段くみあげることができない住民の意見を、このような意見交換を数多く行うことにより、より町民目線にて町運営をチェックしていただく。

・ 議会での質問には、「行政監視・監査型」と「政策提言型」があると思います。これまでの議会報をみても、あの時の質問が、今年のこの政策につながっていると、思うものがあります。町民の皆さんは議会報を何年にもわたって見たり、おぼえていたりしていません。思うので、議会議論が政策に実現しているのを実感することが少ないと思います。そこをお伝えすると、議会をもっと住民に身近なものになるのでは。

・ 日々の御活動、御活躍に敬意を表します。

■60代～70代  
 ・ 町長と同じように議会も懇談会を開けると町民と議会は近くなると思います。

・ 第1回の議会報告会としては良かったです。多くの町民の方がさまざまな意見をもっておられるようです。今後、年に2～3回くらい報告会と意見交換会をしてはどうかと思います。時間は2時間くらい必要と考えます。

・ 住民は議会に期待しているのです。

・ 「議会報告」は必要ないのでは？資料配布で十分です。もっと意見交換の時間を増やしたほうがいいのでは？と思いました。何か言いたい人が来ているのですから。

・ 参考資料の「議会改革等の主な取り組み経過」は、今までのやり方との比較がないので、何が改革なのかわかりづらいです。

・ 議員の方々が実に多くの種々さまざまなお仕事をされていて忙しいのだなあ、と知ることができました。逆に心配になってくるのは、忙しさのあまり最も重



夜の部・林業研修会館

要な問題対策に議員10名の方が結集していませんのでは？と感じました。

例えば津別町で今最も重要な問題は少子高齢化です。その対策として10名がこの1年間活動した内容はこうです・・・などの紹介もほしかったです。

・ 高校について考えてもらいたい。

・ 町民などの意見を聴取することは、自治の基本だというのを基に再努力をして今後やってほしい。

(議会報告会アンケートより)

## は ぐ る ま

議会報告会では、議会の仕組みや役割、各常任委員会の開催状況、取り扱い案件などの説明をし、今年度実施した各常任委員会の行政視察の報告をしました。

この報告会は町民の方々が一人でも多く参加しやすいように、昼の部と夜の部で開催しました。私たちが初めての事であり心配しましたが、多くの方にご参加いただき沢山のご意見やご指摘もあり、今後の議会活動の参考にしたいと考えています。

まちづくり・地域おこしプログラムでは、田口先生の講演で「住み続けたい町つべつ」をテーマに、まちの課題や今後目指すべき方向などの示唆をいただきました。パネルディスカッションでは高校生を含めた6名のパネラーに、津別の課題や魅力について多くのご意見をいただきました。今後議会として何をしなければいけないのか、課題を得て大変参考になりました。

今後共、町民のために努力していきますので、ご指導をよろしく願います。

議会改革推進会議 藤原